

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務部広報統計係 ☎75-2116 / 📠75-2110

▼寄贈に訪れた多久ロータリークラブ役員(右の4人)のみなさん



“火の用心”に気を引き締めて!!

多久ロータリークラブが防火チラシを寄贈

多久ロータリークラブの古川眞澄会長ら4人が12月3日、市役所を訪れ、火災予防を呼び掛けるチラシ8,000枚を横尾市長、佐賀広域消防局多久消防署の横田正孝署長、多久市消防団の陣内成和団長に手渡しました。

このチラシは、「火の用心」と大きく書かれ、家の中で火をよく使う場所などに貼れるように作られたサイズ。「気忙しくなる年末年始は、特に油断大敵」と、毎年この時期に寄贈されて24年目になりました。年内に消防団などを通じて、市内全世帯に配布されます。

古川会長は「見慣れたこのチラシで気を引き締めて、防火に役立ててほしい」と願い、横尾市長は、「毎年の拝受をありがたく思います。暖房器具を使う季節なので啓発と共に、市民の安全安心に有効活用させていただきます」と感謝しました。

もっちり、つやつや『さがびより』に満足!

山犬原生産組合収穫祭

山犬原区で12月12日、平成21年から栽培が始まった『さがびより』の初収穫を祝い、新米を味わう収穫祭がありました。水田農業を営む生産組合（小園敏則代表・18戸）が、地域農業への理解や食育にも役立てようと子どもクラブとの共催で開き、約90人が参加しました。

『さがびより』は近年、気候が大きく変動する中、暑さに強い米として開発された新品種。大きくしっかりした粒やつやのよさ、もっちりした食感などが特徴です。これを山犬原区では2戸が生産され、高品質の出来栄で、収穫となりました。

会場となった公民館には、『さがびより』のほか『ひのひかり』、『ゆめしずく』、『天使の詩』のおにぎりが並べられ、参加者は、この4種類を味見した後、品種当てに挑戦。当選者には新米がプレゼントされました。子どもたちは、「身近な所でお米が色々作られていることが分かり、食べ比べができてよかった」や「どれもおいしかった」などと話していました。



▲粒の大きさや色つやを見ながら新米を味わう参加者

「たく未来会議」がスタート!! 希望者の市民39人が委員

12/9

平成22年度にかけて策定する第4次多久市総合計画に、市民の意見や提言を反映させる『たく未来会議』の初会議を市役所で開きました。募集で参加を希望された市民39人の委員が、全5回の会議を通じて、まちづくりの方向性について検討を重ねます。参加者からは「多久はこのままではいけない」などと熱意ある意見が出されました。



ありがとうの言葉を家庭でも! 「心のセミナー」が終了

12/8

アフリカ系カナダ人でイラストレーターのジョエル・アソグバさんを講師に迎えた人権講演会を中央公民館で行いました。『多様性を愛する時代に』がテーマ。肌の色が違うことから日本で生まれた子ども達が外国人と言われる現実、様々な人々がお互いに尊敬し合い、協力し合える社会を作り上げることを必要とし、「ありがとうの言葉が家庭で言えているかが基本になる」と話されました。

